



救い主を通して癒される
アディクションからの立ち直りプログラム
管理運営ガイド



目次

はじめに：プログラムの説明	iii
アディクションからの立ち直りプログラムの管理と運営の枠組み	1
宗務指導者の役割と責任	2
プログラムコーディネーター，グループリーダー，進行役が果たす，プログラムボランティアの役割	2
統計報告	5
新しい支援集会	5
支援グループの実施の指針と方針	6
新しい参加者を見つけて歓迎する	9
立ち直りにおける支援	10
伴走者を選ぶ	11
立ち直り集会の形式とダイアログ	14
オンラインでの立ち直り集会の形式とダイアログ	17
配偶者と家族の支援集会の形式とダイアログ	20
オンラインでの配偶者と家族の支援集会の形式とダイアログ	22
立ち直り集会のための訓練のポイント	25

「わたしはほかにあり得えないほど激しく，またつらい苦痛を味わった。また……，わたしは言う。それとは反対に，わたしはほかにあり得ないほど麗しく，また快い喜びを味わった。」

はじめに：プログラムの説明

「救い主を通して癒される—アディクションからの立ち直りプログラム」（ARP）は、地元の神権指導者の要請に応じてファミリーサービスが実施する自立支援プログラムです。

このプログラムは、アディクション（依存行為）や強迫行為から立ち直ろうとしている人や、そのような行為がやめられない人の家族や友人を支援します。このプログラムには、福音の原則と、Alcoholics Anonymous World Services, Inc.の12のステップが含まれており、許可を得て、教会の教義、原則、信条を組み込んだ枠組みに修正されています。このプログラムの参加者用ガイドブックは、『救い主を通して癒される—立ち直りの12のステップガイド』と『配偶者と家族の支援ガイド』です。

この管理運営ガイドに記載されている情報は、ファミリーサービスのスタッフやプログラムボランティア、教会指導者が参加者を支援し、プログラムを運営する際に役立ちます。

このプログラムが常に同じ方法で行われることは大切ですが、会場までの距離、文化の違い、その他の要因により、ここに概説されているようなプログラムの実施が困難な地域では、ファミリーサービススタッフの指示の下で調整の方が良い場合もあります。許容される変更には、プログラムの形式、骨組み、組織、および実施方法の調整が含まれます。ただし、プログラムの目標と使命は常に念頭に置いてください。調整をする際には、ファミリーサービスのスタッフおよび地域福祉・自立マネージャー、プログラムボランティアは、ファミリーサービス本部のスタッフと協力して行うべきです。

ARPの集会には、一般的な支援グループ、ポルノグラフィーの問題に関する支援グループ、その他の特定の問題に関するグループ、配偶者と家族の支援グループがあります。一般的な支援グループは、薬物（処方薬や違法薬物）やその他のアディクションと闘っている人のためのグループです。ポルノグラフィーの問題に関する支援グループは、ポルノグラフィーと闘っている人々の支援を目的としています。配偶者と家族のグループは、愛する人の破壊的な行為の影響で苦しんでいる配偶者や家族、友人のためのものです。希望する集会に何種類でも出席することができます。出席前に神権指導者の承認を得る必要はありません。参加者の名前は一切登録されません。

アディクションからの立ち直りプログラムの管理と運営の枠組み

ファミリーサービス—教会本部：ファミリーサービスは、管理ビショップリックの指示の下でARPを実施し、プログラムの内容や方針、運用の指針を作成します。本部スタッフは、地域と調整を行う際、地域福祉・自立マネージャーと相談します。

地域会長会：地域会長会は、担当地域内でのARPの実施を承認します。現時点では、ARPは世界のすべての地域で認可されています。地域会長会は、オンライン集会を監督する地域七十人を割り当てることができます。

地域福祉・自立マネージャー：ファミリーサービスが運営されていない地域では、地域福祉・自立マネージャーが、割り当てを受けたフルタイムのファミリーサービススタッフの役割を担うことができます。

地元の福祉・自立マネージャー：地元の福祉・自立マネージャーは、プログラムに関して地元の教会指導者を支援し、ファミリーサービスのスタッフや地域福祉・自立マネージャーと協力して働きます。

代表ステーク会長：地域会長会は、ファミリーサービス担当の代表ステーク会長を割り当てます（『総合手引き—末日聖徒イエス・キリスト教会における奉仕』22.9.1.2, 「福音ライブラリー」参照）代表ステーク会長は、ARPに関してファミリーサービスを支援します。また、プログラムの活動について、調整評議会のほかの会員や地域七十人に報告します。

ファミリーサービスが設置されていない地域では、代表ステーク会長は地域福祉・自立マネージャーとともに働くことができます。

ファミリーサービス地区マネージャー：地区マネージャーは、ファミリーサービスのフルタイムの職員です。地元の事務局マネージャーがプログラムを管理するの

をサポートし、四半期ごとのレビューおよび毎月の一対一の面談、毎年レビューのプロセスを通してフォローアップします。また、地区マネージャーは、担当地域のすべてのスタッフにARPウェブサイトへのアクセスを提供します。

ファミリーサービス事務局マネージャー：このマネージャーはファミリーサービスのフルタイム職員であり、割り当てられた地区でARPを管理する運営マネージャーです。その責任は、所定の指針と手順に従ってプログラムが運営されるようにすることです。

事務局マネージャーは、プログラムコーディネーターの選定と訓練を行う責任を持ち、プログラムコーディネーターと緊密に協力してプログラムを管理します。グループリーダーと進行役のすべての割り当てを承認し、シニア奉仕宣教師の割り当ての手続きを宣教師管理部とともに行います。事務局マネージャーは、定期的に支援集会に出席して、グループが適切に機能しているようにします。事務局マネージャーはまた、グループリーダーと進行役がきちんと訓練を受け、ARPウェブサイトの管理機能にアクセスできる有効な認証情報を得ているようにする責任があります。

事務局マネージャーは、教会指導者の要請に応じて、支援グループに関するオリエンテーションや訓練を教会指導者に行うことができます。支援グループに関して、代表ステーク会長、地元の調整評議会、地元の自立マネージャーと協力して働きます。

ファミリーサービスが運営されていない地域では、地域福祉・自立マネージャーが事務局マネージャーの役割を担うことができます。

ファミリーサービス事務局マネージャーは、プログラムコーディネーター、福祉・自立マネージャー、代表ステーク会長および／または地域七十人と定期的に会合を持ち、プログラムの進行状況、集会の追加要請、集会終了の可能性、プログラムに関する地元の指導者との連絡方法、ARPが対応できる地元社会のニーズなどについて話し合います。

宗務指導者の役割と責任

地域七十人

地域会長会は、地理的に広い地域または特定の言語のオンライングループに対して宗務上の指導を行う割り当てを、地域七十人に与えることができます。また、ファミリーサービスマネージャーと相談のうえで、オンラインで集会を開く日時と集会の種類を承認します。

集会はステーク会長の承認を得て行われますが、集会の管理と運営はファミリーサービスが行い、地元の法律をきちんと守り、参加者の個人情報を内密に守り、安全を確保します。

ステーク会長または地方部会長

対面で行う支援グループ集会はすべて、割り当てられたステーク会長または地方部会長の承認を得て開始し、主催します。ステーク会長または地方部会長は、ファミリーサービスと話し合い、ステークまたは地方部で主催するグループの種類を承認します。地域会長会が地域七十人にオンライン集会の調整を割り当てていない場合、ステーク会長はファミリーサービスと協力して、オンライン集会の調整を行うことができます。

集会はステーク会長の承認を得て行われますが、集会の管理と運営はファミリーサービスが行い、地元の法律をきちんと守り、参加者の個人情報を内密に守り、安全を確保します。

教会指導者は、教会のプログラムである「救い主を通して癒される—アディクションからの立ち直りプログラム」のみを主催または後援するべきであり、その他の12ステップのプログラムを主催または後援するべきではありません。詳しくは『総合手引き』32.8.2を参照してください。

ビショップまたは支部会長

ビショップまたは支部会長は、ワード評議会や支部評議会でもARPの資料や支援グループ集会について話し合うことができます。また、面接した会員をプログラ

ムに招待することもできます。ビショップは、会員にとって初めての集会には一緒に出席することを申し出るとよいでしょう。出席者は集会に出席するためにビショップの承認を必要としません。

長老定員会会長会と扶助協会会長会

長老定員会会長会と扶助協会会長会のメンバーは、自分が仕える人々が支援グループ集会のことを知り、出席できるように助けることができます。ARPの資料や支援グループ集会は、レッスンや、ミニスタリングで紹介することができます。指導者は、だれでも集会に愛をもって招待することができます。初めての会員と一緒に出席するのは、指導者にとってよいことかもしれません。

指導者がプログラムのことをよく知るのにいちばん良い方法は、集会に出席することです。集会は、addictionrecovery.ChurchofJesusChrist.orgで見つけることができます。

プログラムコーディネーター、グループリーダー、進行役が果たす、プログラムボランティアの役割

特記事項：

すべてのプログラムコーディネーターとグループリーダーは、シニア奉仕宣教師として召されているべきです。この要請は、宣教師管理部から出ています。宣教師管理部のガイドラインでは、一定の奉仕の要件が定められていますが、ARPに割り当てられているすべての宣教師には、週の最低奉仕時間は定められていません。

プログラムコーディネーター

プログラムコーディネーターはシニア奉仕宣教師として奉仕し、ファミリーサービス事務局マネージャーと密接に協力してプログラムを管理します。コーディネーターは、プログラムを監督する責任があるファミリーサービス事務局マネージャーから指名され、訓練を受け、定期的に話し合い、その指示に従います。また、グループリーダーと進行役の両方を訓練し、サポートし、集会の割り当てを与えます。

プログラムコーディネーターに求められること：

1. 有効な神殿推薦状を持っていること。
2. 最長で24か月間奉仕すること。奉仕の期間は、ステーク会長およびファミリーサービス事務局マネージャーの承認があれば延長することができます。

責任

1. ファミリーサービス事務局マネージャーの指示の下で、プログラムを管理する日常業務を行います。
2. addictionrecovery.ChurchofJesusChrist.orgのボランティアのセクションにあるプログラムコーディネーターの訓練を受けます。
3. シニア奉仕宣教師コーディネーターと協力して、奉仕宣教師ウェブサイト servicemissionary.ChurchofJesusChrist.org でグループリーダーの事務手続きと割り当ての処理を行います。
4. グループリーダーと進行役に最初の訓練を施し、その後継続的な訓練を行います。
5. 支援グループ集会に、グループリーダーと進行役を割り当てます。
6. グループリーダーや進行役との定期的な調整集会や現職集会、訓練集会を計画・実施して、プログラムや訓練、計画の問題に対処します。
7. 集会の進行役になる人を見つけます。進行役になれるような人のステーク会長または地方部会長、ビショップまたは支部会長と相談して、集会の進行役を任せる前にその人のふさわしさを判断し、条件を満たすようにします。

8. ステーク会長またはステーク会長から指名されたスペシャリストと協力して、新しい支援グループ集会を作ります。
9. 集会や教会施設のスケジュールを教会の指導者たちと調整します。
10. ARPウェブサイト支援グループに関する情報を掲載します。
11. ARPウェブサイトに参加者の出席が正確に記録されるようにします。
12. ステーク会長が主催する集会について、ステーク会長またはステーク会長が指名したスペシャリストと定期的に話し合います。これは、ファミリーサービス事務局マネージャーと調整する必要があります。

グループリーダー

グループリーダーは、支援グループ集会を司会します。グループリーダーは、シニア奉仕宣教師として召され、任命されます。グループリーダーは、集会がきちんと運営されるようにし、参加者に簡単な指示を与え、証をします。グループリーダーの候補者は、シニア宣教師のウェブサイトでオンラインのシニア奉仕宣教師推薦書に必要事項を記入します。記入した推薦書は、ファミリーサービス事務局マネージャーが確認し、承認します。グループリーダーが代わる場合、グループリーダーの引き継ぎのために、務めを終えるリーダーと新しく入って来るリーダーは少なくとも2回の集会に一緒に出席するべきです。

グループリーダーに求められること：

1. 有効な神殿推薦状を持っていること。
2. 24か月間、グループリーダーとして奉仕すること。奉仕の期間は、ステーク会長の承認があれば延長することができます。

責任

1. ARPウェブサイトのボランティアのセクションにあるグループリーダーの訓練を受けます。
2. プログラムコーディネーターまたはファミリーサービス事務局マネージャーに報告します。

3. 集会を司会し、集会が教会の標準と本ガイドに記されている事柄に従って運営されるようにします。
4. すべての参加者を温かく歓迎して、良い雰囲気の集会にします。新しい人たちはグループ集会の一般的な形式やルールになじみがないかもしれないため、新しい人たちには特に目をかけて歓迎し、あいさつしてください。「新しい参加者を見つけて歓迎する」と「立ち直りにおける支援」（付録参照）をよく読んで、実践してください。
5. グループの参加者に、主に助けを求め、ビショップ、家族や友人、セラピスト、伴走者に助けを求めよう勧めます（「立ち直りにおける支援」および「伴走者を選ぶ」参照）。
6. 『救い主を通して癒される—立ち直りの12のステップガイド』および『配偶者と家族の支援ガイド』の原則を読み、応用します。
7. 毎週、シェアリングを除くすべての集会を計画、運営、司会します（集会の形式とダイアログについては付録のテンプレートを参照）。
8. 調整集会、現職集会、訓練集会に出席します。
9. ARPウェブサイトを通じて月次統計情報を提出します。
10. 進行役になれそうな人を見つけ、プログラムコーディネーターに推薦します。プログラムコーディネーターは、候補者のステーク会長またはビショップと相談してその候補者のふさわしさを判断したうえで進行役を任せ、集会の進行役を務めてもらいます。
11. ファミリーサービスのスタッフまたはスペシャリストの助けを借りて、新しいグループリーダーを見つけます。
12. 服装や身だしなみの標準など、奉仕宣教師の指針に従います。
13. 進行役と参加者に、プログラム資料をどこで手に入ればよいかを教えます。
14. 付録のガイドラインに従います。これには、訓練のポイントに概説されている指示や、形式とダイアログの文書にある言葉も含まれます。
15. ARPにかかわるすべての人に守秘義務を守るよう呼びかけます。

進行役

一般的な支援グループ、ボルノグラフィーの問題に関する支援グループ、特定の問題に関する支援グループ：進行役には、アディクションからの立ち直りの過程にある人で、立ち直ろうとする人を情緒面で支えたいという気持ちのある人になります。進行役は宣教師としての奉仕には申請せず、奉仕宣教師として召されません。進行役は、支援集会のシェアリングの司会をし、グループの参加者に自分の証と立ち直りの話をします（詳しくは、付録にある形式とダイアログのフォームを参照）。グループ集会のシェアリングの司会は通常、アディクションの問題を自分で体験して理解している人が行うべきです。しかし、必要であれば、進行役が見つかるまでの間、グループリーダーが進行役を務めることができます。

配偶者と家族の支援：

進行役には、アディクションに悩む愛する人にどう対応したらよいかを理解しようとしている人を情緒面で支えたいという気持ちのある人になります。関連する問題をよく理解している人です。支援集会では通常、シェアリングを司会し、原則に対する自分の証と知識をグループのメンバーに分かち合います（詳しくは、付録にある形式とダイアログのフォームを参照）。しかし、必要であれば、進行役が見つかるまでの間、グループリーダーが進行役を務めることができます。

進行役に求められること：

1. 教会の会員であり、回復された福音の証を持ち、福音の標準に従って生活していること。
2. グループリーダーとプログラムコーディネーターから推薦を受けていること。ステーク会長または地方部会長から承認を受けるか、承認する役割が委任されている場合はビショップまたは支部会長から承認を受けてください。
3. 一般的に、ボランティアの奉仕を始める前に、少なくとも12か月間連続して立ち直った状態（アディクションから離れた清い状態）にあること。しかし、12か月未満ではあっても立ち直りつつある教会員には、必要であれば進行役を務めるよう依頼することができます。グループにとっては、問題を自分で体験して理解している人がいることが重要だからです。

4. 可能であれば、進行役になる前に、少なくとも3か月間、支援集会に参加すること。
5. すべての印刷物とオンライン資料をよく読んで、それに精通すること。
6. 6か月から24か月間奉仕すること。奉仕の期間は、ステーク会長の承認があれば延長することができます。

責任

1. addictionrecovery.ChurchofJesusChrist.orgのボランティアのセクションにある進行役の訓練を受けます。
2. グループの参加者が歓迎され、安心できるよう、愛と信仰があり、信頼し、助け合える環境を作ります。
3. 立ち直り集会のシェアリングの司会をします。
4. プログラム指導者の決定を支持します。
5. 調整集会や訓練集会に定期的に出席します。
6. グループの参加者に、主に助けを求め、ビショップ、家族や友人、セラピスト、伴走者に助けを求めよう勧めます（「立ち直りにおける支援」参照）。
7. 必要であれば、参加者の伴走者や支援者として働きます。
8. ARPにかかわるすべての人に守秘義務を守るよう呼びかけます。

統計報告

プログラムコーディネーターは、グループリーダーから定期的に統計報告を受けます。グループリーダーは、毎月10日までに以下の月ごとの合計を報告します。

1. 集会の種類別開催回数。
2. グループリーダーと進行役を除く、すべての支援グループ集会の参加者の合計数。
3. 初めて支援グループ集会に出席した新しい参加者の数。（注：「新しい参加者」の定義は、初めて出席した人、または1年以上欠席した後に再び集会に出席するようになった人のことです。）

ファミリーサービス事務局マネージャーは、プログラムコーディネーターに、ARPウェブサイトの「集会を管理する」ページを通じて、教会本部のファミリーサービスに統計情報を提出してもらう責任があります。

新しい支援集会

アディクションからの立ち直りプログラム

新しい支援グループを設けるには、以下のようになります。

1. 地域七十人またはステーク会長は、ARPコーディネーター、ファミリーサービス、または地元の福祉・自立マネージャーと相談したうえで、新しい支援グループを承認します。
2. 地域七十人またはステーク会長は、プログラムコーディネーターまたはファミリーサービスのスタッフと相談して、以下の選択肢を検討します。
 - a. 会員に必要なものを最もよく提供できるのはどの種類の支援グループか
 - b. 集会の日時
 - c. 支援グループ集会は対面で行うべきか、それともオンラインで行うべきか
 - d. 配偶者と家族の支援グループ集会も開いて、愛する人たちの必要を満たせるようにするべきかどうか
3. 次に、集会のグループリーダーと進行役を選びます。プログラムコーディネーターは、このプログラムの中ですでにグループリーダーを務めている人に、新しい集会の運営を割り当てることもできるかもしれませんが、ステーク会長は、自分の（または近隣の）ステークの会員をグループリーダーとして召す必要があるかもしれません。ファミリーサービスはこれらの集会の運営マネージャーであり、割り当ては地元のマネージャーの承認を受けていなければなりません。ステーク会長または地方部会長は、割り当てを行う前にファミリーサービスマネージャーと話し合うべきです。

- a. 新たに召されたグループリーダーは、初めて支援グループ集会の司会をする前に、プログラムコーディネーターから訓練を受け、既存のグループに出席すべきです。
 - b. 新しいグループの進行役を見つけるのは難しいかもしれません。教会指導者は、ステーク内で何らかのアディクションや強迫行動を克服したことのある会員を、進行役として探すといよいでしょう。
4. プログラムコーディネーターは、新しいグループに関する情報をARPウェブサイトに掲載します。
 5. その後、ステーク会長を始めとする教会指導者は、新しいグループを会員に知ってもらうための最善の方法を決定します。
 4. 集会は教会所有の建物で開催します。集会はアディクションの治療センターで開催すべきではありませんが、ステーク会長または地方部会長、および更生施設管理者の承認があれば、更正施設で開くことができます。
 5. 集会は通常、毎週同じ時間に開き、1時間半を超えないこと。集会は1時間開催することができます。
 6. 参加者が多すぎて出席者全員が考えを分かち合う時間を取ることができない場合は、グループリーダーはグループを半分に分けて、グループの半数は別の部屋で集会を行うことができます。
 7. 支援集会への出席は、日曜日の教会の定例集会やワードの活動への出席に取って代わるものではありません。日曜日の集会の時間帯に集会を入れないでください。集会が午後6時より前に終わる場合は、月曜日に入れることができます。総大会やステーク大会の部会が予定されている時間帯には、集会を開かないでください。
 8. 電話会議やビデオ会議での集会は非常に効果的です。その場合、参加者は25人を超えてはなりません。
 9. このプログラムを推進するための取り組みには、適切な教会指導者の要請と承認が必要であり、福祉・自立マネージャーと調整を行います。
 10. グループリーダーと進行役は、参加者に「立ち直りにおける支援」と「伴走者を選ぶ」（付録参照）をよく読んで実践するよう勧めます。参加者は、自分が望むすべての助けと支援を、主の方法で受けるべきです。参加者には、立ち直りの段階を順調に進められるよう、実践的なスキルを学ぶ助けをしてくれる伴走者を、よく祈って選ぶよう勧めるとよいでしょう。参加者がアディクションに苦しみ続けている場合は、専門家の助けを求めることを検討するように勧めるべきです。

支援グループの実施の指針と方針

集会の指針

1. 一般的な支援グループ、ポルノグラフィーの問題に関する支援グループ、配偶者と家族の支援グループは、どの地域でも自動的に開催が承認されます。特定の問題に関する支援グループは、ファミリーサービス本部または地域福祉・自立マネージャーの承認を得なければなりません。
2. 男女別のグループ集会を開くことができます（ポルノグラフィー関係の問題に関する集会は、男女別に集会を開くべきです）。そのような場合、グループリーダーと進行役は、そのグループの同性の人でなければなりません。また、夫婦が一緒に参加できる夫婦グループを設けることもできます。
3. 参加者は18歳以上でなければなりません。18歳未満の人を招待するべきではありません。18歳未満の人が出席した場合、グループリーダーは最初の集会後にこの指針があることを本人に知らせるべきです。その人がその後も集会に出席することを選択した場合は、重ねて注意したり、さらに措置を取ったりするべきではありません。

プログラムの指針

1. 支援集会で使用する資料は、標準聖典および教会機関誌、支援グループガイドブックのみです。そのほかの資料や出版物を、支援集会の中で、または集会の前後に、宣伝、販売、配布することはありません。
2. 教会の施設で開かれる立ち直り集会や支援集会は、主催するステーク会長または地方部会長から別途

承認がないかぎり、青少年の活動と同じ時間帯および建物内の場所で行うべきではありません。

3. 立ち直り集会や支援集会で共有された情報を、出席者は内密に保ってください。
4. 教会指導者は、神権会、扶助協会、ワードおよびステークの評議会集会で、このプログラムに関する発表を行うよう要請することができます。そのような要請は、プログラムコーディネーター、ファミリーサービス事務局マネージャー、または地元の福祉・自立マネージャーと調整する必要があります。
5. プログラムの参加者には、ビショップ、支部会長、またはそのほか指名された指導者と定期的に会い、進捗状況について話し合い、さらに支援を受けるよう勧めてください。
6. メディア関係の要請や問題はすべて、ファミリーサービス本部に直接問い合わせてもらいます。本部は教会広報部と調整します。
7. 本プログラムに関する情報を提供するには、教会の公式ウェブサイトのみを使用してください。本プログラムを宣伝するために他のウェブサイトを作成することは承認されていません。
8. 本人を支援する家族は、支援グループ集会に参加することができます。
9. 神権を持つグループリーダーは参加者に神権の祝福を授けることができますが、まずは家族、教会指導者、ミニスターングブラザーに神権の祝福をお願いするよう勧めてください。
10. 奉仕宣教師の名札に記載するのは、以下のものとします。(1) 宣教師の名前、(2) 「奉仕宣教師」、(3) 「末日聖徒イエス・キリスト教会」。
11. 専任宣教師は、支援集会に参加者として参加することはできません。専任宣教師は、伝道部会長の裁量により、求道者を集会に連れて来ることが許されています。
12. ステーク会長が承認されたプログラムの指針によらずに集会を設けることを選択した場合、そのような集会はステークの集会と見なされるため、ウェブサイトには追加すべきではありません。ファミリーサービスのスタッフは、ステーク会長と相談し、最善の方法について話し合うべきです。

13. グループ集会への参加費用は無料です。ガイドブックを集会で販売するべきではありません。参加者は、ガイドブックの印刷版をstore.ChurchofJesusChrist.orgで購入することができます。また、「福音ライブラリー」アプリやaddictionrecovery.ChurchofJesusChrist.orgで無料でデジタル版を見ることがもできます。グループリーダーは、印刷版のガイドブックを用意して、参加者に貸し出すこともできます。

管理ガイドライン

1. グループリーダーまたは進行役は、支援集会中に緊急事態や重大な事故が発生した場合、地元当局（警察、消防、救急など）に連絡してください。その後、ステーク会長およびプログラムコーディネーター、ファミリーサービスにも知らせてください。
2. グループリーダーまたは進行役と集会の参加者の間で、セクハラなどを含む性的不正行為が行われた疑いがあった場合は、直ちにファミリーサービスのスタッフまたは地域福祉・自立マネージャーに報告してください。同様に、集会の参加者から虐待や不正行為について報告があった場合は、直ちにファミリーサービスのスタッフまたは地域の福祉・自立マネージャーに報告しなければなりません。その後、ファミリーサービスは、必要に応じて教会の虐待ラインまたは地域法務顧問に連絡します。
3. 集会の参加者の一人が他の参加者の気を散らすようなことを繰り返している場合、プログラムコーディネーターまたはグループリーダーは、その参加者に問題行動をやめさせます。努力してもやめさせることができなかった場合、プログラムコーディネーターまたはグループリーダーは、その参加者に集会への出席をやめるよう求めるべきです。
4. ステーク内で開かれる支援集会に関して何らかの重大な問題がある場合、ファミリーサービスのスタッフまたは地域福祉・自立マネージャー、プログラムコーディネーターは、それについて、主催者側のステークのステーク会長と話し合ってください。（注：その際、参加者全員の名前を伏せ、立ち直り集会や支援集会で共有される情報の内密性を守らなければなりません。）
5. ARPについて話し合うファイヤサイドやディボーションナルは、ステーク会長または地方部会長が地域七

十人の承認を得たうえで主催し、実施する場合に限り許可されます。そのような集会在調整評議会の管轄範囲を越える場合には、地域会長会の承認が必要です。

6. ファミリーサービス事務局は、グループリーダーと進行役のために年次訓練または大会を開催することができます。この訓練は、ファミリーサービスが主催し、実施するべきです。軽食は事務局の予算で提供できますが、出席者の交通費の払い戻しはするべきではありません。

調整に関するガイドライン

1. ARPは地元の必要に合わせて調整することができます。調整を行う場合はファミリーサービス本部の承認を得るべきであり、地域の承認が必要な場合もあります。

2. ARPウェブサイトでは、具体的な集会時間と場所は公表されません。開催される地域と日付は掲載されますが、具体的な時間や住所は記載されません。参加者は、特定の時間と場所を知るためには、グループリーダーまたはプログラムコーディネーター、神権指導者に問い合わせなければなりません。これにより、集会の内密性が保たれます。
3. 特定の発表や指示に対応するために、集会の形式やダイヤログに小さな変更を加えることができます。クロストークのガイドラインに反することをしないでください。

新しい参加者を見つけて歓迎する

新しい参加者とは、ARPの立ち直りのための集会や配偶者と家族を支援するための集会に初めて参加した人のことです。このような人は、変化の初期段階にある人や、再発して戻ってきた人、または友人や家族であることが多いです。見覚えのない人は新しい参加者である可能性があり、新しい参加者が出席する最初の数回の集会はきわめて重要なものとなることが多いため、このような人たちに違和感なく気持ちよく参加してもらえるようにすることは、特に大切です。

新しい参加者は勝手が分からず不安を感じていることが多いものです。自分が有害な行為をしていることや、思いどおりに生きていけなくなっていること、助けを必要としていることを認めるのはとても勇気のいることだということを、忘れないでください。また、薬物やアルコールなどの使用やポルノグラフィ関係の問題が愛する人や自分自身の生活に及ぼしている影響について友人や家族が話すのも、勇気のいることです。わたしたちの目標は、新しい参加者がまた来たいと思ってくれるようにすることです。

わたしたちには、各集会の前と集会中、そして集会後に、違和感なく気持ちよく過ごしてもらえるような雰囲気を作り出す責任があります。御霊が新しい参加者の心に触れ、変化の過程を導いてくれることを信じてください。

新しい参加者はとかく圧倒されがちですから、愛をもって優しく接してください。愛とサポート、励ましは、違和感なく気持ちよく参加してもらえるようにするために不可欠な要素です。

わたしたちは教会から、この集会は18歳以上の人を対象とするようにという指示を受けています。本人が18歳未満の場合は、親、ビショップ、メンタルヘルスまたは身体の健康の専門家に相談して、役に立つと思われるほかの選択肢を見つけるよう勧めてください。さらに詳しい説明を希望している場合は、地元のファミリーサービス担当者に連絡するように勧めてください。

一度年齢規定を知らせた後も引き続き出席している場合は、年齢規定を再度指摘することなく、年齢を理由に排除することがないようにします。

以下の提案は、集会の前後に新しい参加者に手を差し伸べる際に役立つかもしれません。

1. 見覚えのない人にあいさつするときは、自己紹介をし、12ステップの集会に参加したことがあるか尋ねます。
2. 新しい参加者に、安全な場所にいることを伝えて安心させます。わたしたちは守秘義務の原則を守るよう努めており、下の名前（あるいはニックネーム）のみを使えばよいことを説明してください。また、集会で読んだり分かち合ったりすることに抵抗がある場合は、ただ聞いているだけでもよいということも、伝えてください。
3. 新しい参加者にプレッシャーをかけず、本人が望んでいる以上のことを分かち合わせないようにします。集会に出席している理由を説明することに抵抗を感じる場合がよくあることを理解してください。
4. ほかの参加者と共通して感じている気持ちを述べている言葉に注意して耳を傾けるよう、新しい参加者に勧めてください。新しい参加者は、体験談を話している人たちと共感できると、集会にまた来たいという気持ちになります。わたしたちの集会は、様々な種類の有害な行為に苦しむ人を受け入れているため、グループのメンバーがいつも同じ経験をしているわけではないことを説明します。しかし、有害な行動をしている人は、ほかの人の選択や行動によって生活が乱されている人と同じような気持ちを感じることが、よくあります。もし質問があれば集会終了後に残るよう、新しい参加者に勧めます。
5. 新しい参加者はプログラムのあらゆる側面について聞かなくても、プログラムを理解するようになると信じましょう。新しい参加者に『救い主を通して癒される—立ち直りの12のステップガイド』または『配偶者と家族の支援ガイド』を見せて、自分用に1冊ずつ手に入れるように勧めてください。御霊に耳を傾け、集会に出席し、ガイドをよく読むことを通して、変化に導く原則と実践方法をよく理解し、応用できるようになることを、新しい参加者に説明します。

6. 新しい参加者を進行役に紹介します。進行役は、最初の集会に来ることがどういうものであるかを覚えていきます。進行役は参加者の模範です。このプログラムのおかげでいかに生活が変わったかを、自分の経験から証することができます。
7. 自分の経験を分かち合うことに関して新しい参加者に問題がある場合は、できるだけ穏やかに対応します。問題や質問については、ほとんどの場合、集会中よりも集会後に対応の方が効果的です。時間とともに、新しい参加者は集会のエチケットを理解するようになるでしょう。
8. 新しい参加者の中に、ボルノグラフィー関係の問題や、薬物やアルコールなどの使用で苦しんでいる人の家族や関係者がいた場合は、そのような人を対象とした、配偶者と家族のための支援グループ集会があることを伝えます。
9. 集会後、出席してくれたことに対して新しい参加者に個人的に感謝を伝えます。
10. 新しい参加者はグループにとって祝福であることを忘れないようにしましょう。新しい参加者がいると、互いに奉仕し、支え合い、学び合う機会が常に生まれます。

立ち直りにおける支援

支援を見いだすことの重要性

ほかの人々から支援を受けて、立ち直りと癒しを見いだせるよう助けてもらうのは大切なことです。弱さに苦しむときに頼れる人がいることが、多くの場合、不可欠になってきます。拒絶と孤立は、強迫行動やアディクションに顕著に見られる特徴です。ほかの人たちの支援や視点がなければ、そのような行為に容易に戻ってしまいます。立ち直りにおいては、できるだけ早く支援を得ることが大切です。

人とのつながりは、必要な励ましを提供してくれるだけでなく、わたしたちが神の子供として愛される資格があることを思い起こさせてくれます。ほかの人々に支援を求めるとき、わたしたちは祝福を受け、わたしたちを支援してくれる人々も祝福を受けます。12のステップを活用し、ほかの人々からの支援を求めるとき、次に挙げるサポート源から助けを得ることができます。

1. 天の御父、イエス・キリスト、聖霊。天の御父とイエス・キリストと聖霊は、わたしたちの最も大いなるサポート源です。イエス・キリストとその贖いを通して、人は変わることができます。モルモン書の中で、預言者アルマは次のように述べています。「〔キリスト〕は、肉において御自分の心が憐れみで満たされるように、また御自分の民を彼らの弱さに応じてどのように救うかを肉において知ることができるように、彼らの弱さを御自分に受けられる。」（アルマ7：12）へりくだって天の御父と御子イエス・キリストのもとへ行くと、助けられ、養われていることを実感するでしょう。贖いを通して与えられる救い主の助けを見逃さないようにすることが大切です。主は次のように教えておられます。「わたしは道であり、真理であり、命である。」（ヨハネ14：6）聖霊はわたしたちに、慰め、平安、前進し続けるための霊的な強さを与えてくださいます。
2. 家族。家族は、愛し、受け入れることによって、サポート源になることができます。アディクションからの立ち直りプログラムの『配偶者と家族の支援ガイド』で教えられている福音の原則を実践することによって、家族は支援する能力をさらにつけることができます。家族全員が快く慰めを提供できる立場にあるわけではないでしょうが、そうすることのできる人たちは、最も力強いサポート源になることが多いのです。
3. 友達。詳細を打ち明けるかどうかにかかわらず、自分の苦しみについて話すとき、友人はわたしたちを愛し、支援してくれる存在です。友人が勇気をもってわたしたちのやめる必要のある行為を指摘してくれるときや、助けを求めるよう励ましてくれるとき、わたしたちは立ち直りに向かって前進することができます。友人から愛と支援を受けると、自分の価値を思い起こすことができます。
4. 宗務指導者。宗務指導者は、変わる過程で欠かすことのできない支援を与えてくれます。わたしたちが救い主の愛を感じられるように助け、わたしたちが悔い改めて、強迫行動やアディクションを変えることができるよう助ける重要な役割を果たしてくれるのです。
5. 伴走者。伴走者は、12のステップに取り組むことによって立ち直った経験を持つ人です。自らの経験を通して、彼らはわたしたちがこのステップを進

め、実践するのをどのように助ければよいかを知っています。わたしたちが気づいていないときでさえも、彼らはたいがい不正直を見抜き、そのほかの様々な困難を理解することができます。伴走者は、わたしたちが自分たちの生活を客観的に見られるように、そして自分たちの責任を誇張も、過小評価もしないように、そばにいて助けてくれます。

6. 立ち直り集会。支援集会は、受け入れられ、愛され、支えられていると感じることのできる、安心して参加できる場所です。これらの集会では、救い主イエス・キリストと、12のステップを生活で実践することを通して、立ち直ることへの信仰と希望、そして経験を分かち合います。自分の経験を分かち合うことで、必要な変化に向けて努力し、立ち直りと癒しを得られるという希望を見いだすことができます。
7. メンタルヘルスと医療の専門家。専門家はしばしば、強迫行動やアディクションから立ち直って癒されるために、必要な洞察と独自のスキルを提供してくれます。アディクションからの立ち直りプログラムに参加していてもなお強迫行動やアディクションに苦しんでいる場合には、メンタルヘルスと医療の専門家に専門的な助けを求めることを検討すべきです。教会員が専門家の助けを求める場合は、福音の原則を支持する人を選ぶべきです。

あなたを支援する人たちを選ぶ

教会のARPでは、あなたに伴走者や支援体制は割り当てられません。だれにいつ助けを求めるかは個人の判断に任されています。あなたの周りにいる人で、最も助けを求めやすいと感じる人や、あなたにとって最も大きな助けになってくれそうな人はだれか、よく祈って考えてください。一般的に、支援してくれる人が多いほど、立ち直りを達成する可能性は高くなります。自分の支援体制に加わってほしい人を特定した後、その人たちに助けを求めることに対して、惨めな気持ちや恐れを抱くかもしれません。しかし、助けを求めるとき、人々がどれほどあなたを愛し、受け入れてくれるかに驚くかもしれません。人とのつながりが多いほど、愛を受ける機会が増えます。

自分を支援してくれる人を選ぶとき、その支援者は非常に信頼できる人であるべきだということを覚えておいてください。あなたを最も効果的に支援できる人たちとは、現在あなたとつながりがあり（親、伴侶、家

族、教会の指導者）、あなたの成功を望んでいて、教会に活発であり、あなたが直面する問題の本質を理解している人や、理解したいと願っている人たちなどです。自分自身の問題を克服した人は、多くの場合、ほかの人が経験する困難に対してより深い共感を抱きます。同様の問題を抱えている人は、あなたの苦しみに共感する能力が高いことが多いです。

自分自身が変わる過程を歩み始めるとき、身体的、感情的、霊的に不安定な状態になることがあります。あなたを支援してくれる人と不適切な関係にならないように注意してください。

伴走者を選ぶ

伴走者とともに取り組むことで、立ち直りの過程をより実りあるものとすることができます。伴走者は、あなたが直面している問題やアディクション、常習性のある行為を克服するために、あなたの成長と決意を支えてくれます。立ち直りの旅において、あなたは独りではありません。伴走者は、「慰めの要る者を慰めることを望み、……証人になることを望んでいる」（モーサヤ18：9）人たちです。できるだけ早く伴走者とともに取り組むことを検討してください。

伴走者とは

伴走者は、12のステップに取り組むことによって立ち直った経験を持つ人です。彼らは、あなたが自分では気づいていないような、立ち直りに関連した具体的な問題を理解しているかもしれません。伴走者は、あなたが自分の生活を客観的に見られるように、そして自分の責任を誇張も、過小評価もしないように、そばにいて助けてくれます。伴走者はあなたの親友あるいはメンタルヘルスの専門家になるというわけではありません。伴走者の役割は、あなたが立ち直りのステップに取り組んでいくのを助けることです。

伴走者を見つける

教会のARPでは、個人に特定の伴走者を割り当てることはしていません。会員はそれぞれが個人の経験や必

要、性格に合った方法で、伴走者の支援を申し入れることができます。

伴走者による支援については、あなたと伴走者、そして主との間でよく話し合って決定します。

伴走者になってくれる人を見つけるのは難しいと感じるかもしれませんが、ほかの人たちに助けてもらうことができます。伴走者を見つける最も良い方法は、立ち直り集会に出席することです。同様の問題を抱えている人は、あなたの苦しみに共感する能力が高いことが多いです。以下のアイデアは、適切な伴走者を決める際に役立つでしょう。

1. だれに伴走者になってもらうかについて、祈りと断食を通して天の御父からの霊的な導きを求める。
2. 長い期間にわたって立ち直りの過程を歩んで、12のステップに取り組んできた人を選ぶようにする。
3. 立ち直りの経験を分かち合う話に耳を傾け、自分がだれとつながりを持つとよいかを考える。
4. グループリーダーと進行役に、進んで助けてくれる適切な候補者を紹介してもらう。
5. あなたがふさわしいと感じる人をお願いする。
6. 同性の伴走者を選ぶ（親族でない場合）。
7. あなた自身が変わる過程を歩み始めるとき、身体的、感情的、霊的に不安定な状態になることがある。伴走者と依存的な関係にならないように注意する。
8. 一時的な伴走者になってくれるようだれかにお願いすることは、いつでもできる。伴走者はいつでも変えることができる。

効果的な伴走者になる

伴走者になることは、あなた自身が、救い主イエス・キリストを通して立ち直りと癒しを見いだす12のステップに取り組むことによって得てきた、経験や信仰、希望を分かち合う、すばらしい奉仕の機会です。伴走者は、思慮深い質問をし、リソースを示し、ステップに取り組む方法について实际的な支援を行い、自分が伴走者をする人が集会に出席するよう励まします。伴走者は、その人の立ち直りに自分以外の人たちが関与

するかもしれないことを理解しており、その人がほかの人に支援を求めたり、伴走者を変更することを選んだりしても、気分を害したりはしません。以下は、効果的な伴走者となるための幾つかの原則です。

1. **何よりも神を優先する。**いつも神を覚え、あなたが支援する人が神に頼るように助けてください。その人が自分に過度に依存するようにならないよう、気をつけてください。伴走者としてのあなたの責任は、天の御父と救い主に頼って導きと力を求めるよう相手を励ますことです。あなたの役割は、信仰と希望に関するあなたの経験を分かち合うことで、あなたの支援する人が神の恵みによって、自分は愛され、支えられていると感じられるように助けることです。
2. **立ち直りに積極的にかかわる。**伴走者は、だれかを支援する前に、かなりの期間（通常12か月以上）にわたって立ち直りの取り組みを経験していて、立ち直りの原則の実践と研究に積極的に携わっている必要があります。ほかの人の伴走者を務めるようになると、自分自身の立ち直りについてそれまでよりもプレッシャーを感じるかもしれません。ほかの人の支援をすることによって、自分自身の立ち直りが危うくなることがないように注意してください。伴走者はセルフケアを実践し、必要なときには助けや支援を求めます。
3. **謙遜になる。**人々に奉仕するとき、自分がこれまで学んできた福音の原則と実践方法に従うよう心掛けるなら、謙遜であり続けることができるでしょう。『救い主を通して癒される—立ち直りの12のステップガイド』では次のように説明しています。「あなたの新しい生活の中には、うぬぼれやどんな優越感も入り込む余地はありません。」伴走者としてのあなたの役割は、自分の強みを使って支援や導きを与えることです。
4. **ほかの人の選択の自由を尊重し、忍耐を働かせる。**効果的な伴走者の務めは、「説得により、寛容により、温厚と柔和により、また偽りのない愛により、優しさと純粋な知識によ〔って〕」（教義と聖約121：41－42）もたらされます。どのような形であれ助言を与えたり、相手を正そうとしたりすることは避けてください。相手が原則や実践

方法について考えられるように助け、その後、自分自身で決断するときに支援します。彼らの選択の自由を尊重し、彼らが主に頼るときに主が助けてくださるという希望を持ってください。あなたが助けている人は、まだ前進する準備ができていないかもしれません。不健康な行為を繰り返したり、心から変わることに関する原則や実践方法がなかなか身につかなかったりすることがあるかもしれません。伴走者は、立ち直りに向かう旅をする人に対して忍耐強くなければなりません。

5. 無私の奉仕をする。無私の奉仕には、見返りを期待せずと与えることが求められます。伴走者は、理解する能力に優れていて、自分が支援する人のために、進んで時間と努力をささげるべきです。あなたが支援する人から称賛や感心、忠誠心、そのほかの感情的な報いを求めないようにしてください。
6. 自分のなすべきことを大切にすること。伴走者になったからといって、あなたが支援する人はあなたの時間や資源を無制限に利用していいということにはなりません。家族や教会、仕事に対する責任や、自分の時間を持つことなど、自分のなすべきことを大切にすることによって、健全な境界線を定めることの大切さを模範で示すことができま

す。モーサヤ書第4章27節で与えられている勧告を覚えておいてください。「これらのことはすべて、賢明に秩序正しく行うようにしなさい。人が自分の力以上に速く走ることは要求されてはいないからである。」

7. よく祈る。だれかの伴走者になることを選ぶときにはいつも、その人の現在の必要に最も役立つ原則や行いを知るために、主の導きを求めてください。奉仕する方法について考えるときにはよく祈り、いつも御霊の導きを受けるように努めてください。
8. 真理について証する。共感できるということを相手に知ってもらうために、経験を分かち合った方がよいとすることがあるかもしれません。また、救い主とその癒しの力について、あなたの証を述べてもよいでしょう。神は奇跡の神であられるという真理が鍵となります（モロナイ7：29参照）。主の憐れみと恵みについてあなたの証を分かち合うことが、あなたにできる最も重要な奉仕の一つかもしれません。
9. 自信を持つ。伴走者として、あなたには人のプライバシーを守る責任があります。名前を伏せることと守秘義務は、人の伴走者を務め、助ける能力を高めるための基本原則です。

立ち直り集会の形式とダイヤログ

注：下の吹き出しの文字は、あなたが言うべきことです。それ以外の文はすべて、集会で行うべきことです。

1. グループを歓迎する：末日聖徒イエス・キリスト教会の、「救い主を通して癒される—アディクションからの立ち直りプログラム」によるそお越しくできました。

わたしは〔あなたの姓〕長老／兄弟／姉妹です。わたしの同僚は〔あなたの同僚の姓〕長老／兄弟／姉妹です。わたしたちは皆さんのグループリーダーです。

以下のことを行うか、または言ってください。

この集会は初めてだという人はいますか？この集会に来てくださり、ありがとうございます。

- 参加者に、下の名前（あるいはニックネーム）のみで自己紹介してもらいます。
- 18歳未満の人がいれば、集会後にあなたと話すように言います（指示14参照）。

携帯電話は、音がしない設定にしてください。

- 発表事項（もしあれば）を伝えます。

立ち直りのガイドは、「福音ライブラリー」アプリで見ることができ、store.ChurchofJesusChrist.org で注文することもできます。

2. 開会の祈りを願います：

だれか開会の祈りをしてくださる方はいらっしゃいますか。

3. ミッションステートメントを読む：「末日聖徒イエス・キリスト教会の立ち直り集会は、立ち直り

の間のサポートを望む人を支援します。また、家族や友人など、ほかの人の決断によって生活が影響を受けている人も、歓迎します。わたしたちは、立ち直りの12のステップに関連する福音の原則を研究し、応用しながら、経験と信仰と希望を分かち合う兄弟姉妹のグループです。わたしたちの集会は、安心して正直に話すことのできる場を提供します。なぜなら、守秘義務と名前を伏せるという原則に従うことを奨励しており、適切な言葉遣いと振る舞いによって御霊を招いているからです。生活の中でこの12のステップを実践することにより、イエス・キリストとその贖罪を通して力を受けて問題を克服し、福音の祝福をさらに完全に受けるようになっていただければ幸いです。」

自死願望を抱いたことがある方は、いのちの電話 0120-783-556（毎日16：00-21：00）に電話するか、<https://talkme.jp/>（24時間）にチャットを送信してください。

4. 12のステップを紹介する：では、これからガイド（『救い主を通して癒される—立ち直りの12のステップガイド』）の（ここにページ番号を入れてください）ページにある12のステップを、教室にいる方たちに順番に読んでもらいます。ステップを一人一つずつ読んでください。聞くだけにしたい方は、パスしても結構です。

5. ステップの学習を紹介する：毎週、立ち直りのステップの一つに焦点を当てます。今週は、『救い主を通して癒される—立ち直りの12のステップガイド』の〔番号〕ページから、ステップ〔番号〕について読みます。教室にいる方たちで、差し支えない方に、1段落か2段落ずつ読んでいただきたいと思います。聞くだけにしたい方は、パスしても結構です。〔あなたのグループが該当する場合にのみ、次の文を言います。〕ガイドを持っていない方のために、この集会で使用するガイドを余分にご用意しています。〔そして、次の文を読みます。〕

6. 行動のステップを紹介する：これらの12のステップは、行動のプログラムを構成しています。「行動のステップ」というセクションを読むと、キリストのもとに来て強さを得るためにできる福音の行動についてよく理解できるようになります。〔読む・分かち合う人のリストで次の順番の参加者に、「行動のステップ」のセクションを読み始めてもらい、その次の順番の各参加者に、差し支えなければ、セクションの終わりまで1, 2段落ずつ読んでもらいます。〕

7. 進行役を紹介する：では、司会を進行役の〔進行役の下の名前〕にバトンタッチして、この集会のシェアリングに進みます。

8. 集会の次の部分を、進行役のシェアリングで始める（シェアリングは5分までとする）：こんにちは、〔あなたの下の名前〕です。〔今週のステップに関連する良い経験（もしあれば）を分かち合い、救い主についての証を述べます。〕

9. グループシェアリングを説明する：〔該当する場合にのみ最初の文を読みます。〕集会開始時から参加してくださっている皆さん、ありがとうございます。では、シェアリングを始めます。立ち直りに関する個人的な経験、今週話し合っているステップ、または現在取り組んでいるステップについて分かち合ってください。シェアリングでは問題そのものではなく、解決策に焦点を当ててください。御自分の自己破壊的な行為について生々しい詳細は話さないようにしてください。クロストーク、つまり、人の話を遮ったり、他の参加者の言葉に直接返答したりすることは不適切だということを、忘れないでください。また、聞くだけにしたい方は、パスしても結構です。

秘密を守り、名前を伏せることによって正直に話することができるようになり、この集会が安心して話せる場になります。ですから、「ここでだれと会い、何を聞いたかは、ここを出るときに置いて行きましょう」というアルコホーリクス・アノニマスでの言葉を思い出してください。名前を伏せるため、自己紹介は下の名前やニックネームのみにしてください。シェアリングは、集会が終わる5分前、〔具体的な時刻〕に終わります。その後、〔グループリー

ダーの一人の名前〕長老／兄弟／姉妹から最後の話を聞きます。では、信仰や希望を感じた経験を皆さんが話す時間です。話は3分から5分にまとめてください。制限時間が来たら、合図〔コンコンコンと3回たたく〕します。この集会では、わたしたちが進行します〔部屋の中の人に順番に話してもらうか、手を挙げてくれた人に話してもらうか、のどちらかにします〕。最初に分かち合いたい人はいますか。

10. グループシェアリングを閉じる：参加してくださり、心から感謝いたします。では、〔グループリーダーの一人の名前〕長老／兄弟／姉妹にバトンタッチします。

11. 次の文を読む：必要に応じて、もう一度自己紹介をします（例えば、遅れて来た人であなたのことを知らない人がいる場合など）。

わたしは〔あなたの姓〕長老／兄弟／姉妹です。ここで聞いたことは口外してはならないことを、忘れないでください。集会で語られた意見の中には、末日聖徒イエス・キリスト教会の信条を反映していないものもあるかもしれません。集会中にメモを取ることができるように、このガイドブックを個人用に入手することをお勧めします。また、次の集会までの間に「行動のステップ」と「よく読んで理解する」のセクションを活用し、この集会で聞いたことや経験したことを土台にして積み上げていくことも、お勧めします。わたしたちは、変わるためには人との真のつながりが不可欠であることを知っています。強さと支援を求めて人に助けを求める際、「立ち直りに関する支援」と「伴走者を選ぶ」の文書（ウェブサイトで見覧可能であり、グループリーダーから受け取ることもできる）を指針として活用するようお勧めします。最後になりますが、参加してくださった一人一人に感謝申し上げます。あなたがここにいるということは、あなたの謙遜さと信仰の表れであり、あなたの存在は、今日出席しているすべての人に希望を与えています。わたしの話の後、どなたか閉会の祈りをしてくださいませんか？

12. グループリーダーのシェアリング（5分以内）で締めくくる：締めくくりの言葉は、変わるための原則と手段、そして救い主に対する証を中心にします。

集会が時間どおりに閉会できるよう、早めに終えてください。

13. だれかに閉会の祈りを願います。

14. 集会後、18歳未満の出席者に次のことを伝える：積極的に悩みの解決に取り組んでいることに感謝しています。それは、自分の人生を主の御心に合わせたという望みがあることの表れです。わたしたちは教会から、この集会は18歳以上の人を対象とするようにという指示を受けています。役に立つような選択肢がほかにはないか、親やビショップ、メンタルヘルスまたは身体の健康の専門家に相談することをお勧めします。さらに詳しい説明をご希望でしたら、〔ファミリーサービスの担当者と電話番号〕までご連絡ください。〔18歳未満の人が引き続き来る場合は、年齢規定を再度指摘しないでください。それ以上の措置を取ってはなりません。〕

オンラインでの立ち直り集会の形式とダイアログ

注：下の吹き出しの文字は、あなたが言うべきことです。それ以外の文はすべて、集会で言うべきことです。

1. グループを歓迎する：末日聖徒イエス・キリスト教会の、「救い主を通して癒される—アディクションからの立ち直りプログラム」によるこそお越しくできました。わたしは〔あなたの姓〕長老／兄弟／姉妹です。わたしの同僚は〔あなたの同僚の姓〕長老／兄弟／姉妹です。わたしたちは皆さんのグループリーダーです。

以下のことを行うか、または言ってください。

- オンライン集会の方が参加できる人が多く、ある程度名前を伏せることが簡単にできます。対面の集会では、これほどまでに名前を伏せることはできません。
- プライバシーを守れる場所、つまり、だれからも会話を聞かれることがなく、邪魔の入ることもない場所でご参加くださるよう、お願いいたします。集会を抜けなければならないときには、集会を退出してから再度参加してください。
- カメラをオンにするようお願いいたします。その方が、ほかの参加者を身近に感じるようになって、サポートしやすくなるからです。ただし、カメラをオフにして参加しても、まったく問題ありません。
- これは、内密の集会です。この集会の録画は許可されていません。参加者全員にとって安心して参加できる内密の集会になるようにするために、あらゆる努力を払ってください。ただし、ファミリーサービスは機密保持を保証することはできませんので、ご理解ください。
- この集会は初めてという方がおられましたら、心から歓迎いたします。

- 18歳未満の人がいれば、集会後にあなたと話すように言います（指示14参照）。
- 発表事項（もしあれば）を伝えます。

2. 開会の祈りを願う：

だれか開会の祈りをしてくださる方はいらっしゃいますか。

3. ミッションステートメントを読む：「末日聖徒イエス・キリスト教会の立ち直り集会は、立ち直りの間のサポートを望む人を支援します。また、家族や友人など、ほかの人の決断によって生活が影響を受けている人も、歓迎します。わたしたちは、立ち直りの12のステップに関連する福音の原則を研究し、応用しながら、経験と信仰と希望を分かち合う兄弟姉妹のグループです。わたしたちの集会は、安心して正直に話すことのできる場を提供します。なぜなら、守秘義務と名前を伏せるという原則に従うことを奨励しており、適切な言葉遣いと振る舞いによって御霊を招いているからです。生活の中でこの12のステップを実践することにより、イエス・キリストとその贖罪を通して力を受けて問題を克服し、福音の祝福をさらに完全に受けるようになっていただければ幸いです。」

自死願望を抱いたことがある方は、いのちの電話 0120-783-556（毎日16：00-21：00）に電話するか、<https://talkme.jp/>（24時間）にチャットを送信してください。

4. 12のステップを紹介する：これから参加している人たちで、ガイドの（ここに番号を入れる）ページにある12のステップを順番に読みます。ステップを一人一つずつ読んでください。聞くだけにしたい方は、パスしても結構です。読む順番は、わたしがチャットに載せます。

5. ステップの学習を紹介する：〔次の二つの文は、集会開始後に入ってきた人がいる場合にのみ読んでください。〕12のステップを読み始める前に、この集会に参加している方で、読む人のリス

トに入れてほしい方はいませんか？聞くだけでもまったく問題ありません。〔遅れて集会に参加した人がいない場合は、次の文から始めます。〕焦点を当てるステップは、毎週異なります。今週は、『救い主を通して癒される—立ち直りの12のステップガイド』の〔ページ番号〕ページから、ステップ〔ステップ番号〕について読みます。読む方は、1段落か2段落ずつ読んでください。読む前に名前を言い、読み終わったら「では次の方どうぞ」と言ってください。また、ただ聞くだけにしても結構です。

6. 行動のステップを紹介する：これらの12のステップは、行動のプログラムを構成しています。「行動のステップ」というセクションを読むと、キリストのもとに来て強さを得るためにできる福音の行動についてよく理解できるようになります。〔読む・分かち合う人のリストで次の順番の参加者に、「行動のステップ」のセクションを読み始めてもらい、その次の順番の人たちに、差し支えなければ、セクションの終わりまで1, 2段落ずつ読んでもらいます。〕

7. 進行役を紹介する：では、司会を進行役の〔進行役の下の名前〕にボタンタッチして、この集会のシェアリングに進みます。

8. 集会の次の部分を、進行役のシェアリングで始める（シェアリングは5分までとする）：こんにちは、〔あなたの下の名前〕です。〔今週のステップに関連する良い経験（もしあれば）を分かち合い、救い主についての証を述べます。〕

9. グループシェアリングを紹介する：

- 〔ステップの学習が始まってからグループに参加した人がいる場合にのみ、次の文を読みます。〕少し前にこの集会に参加して下さった皆さん、ようこそお越しくださいました。〔その後、

次の文に進みます。〕では、シェアリングを始めます。立ち直りに関する個人的な経験、今週話し合っているステップ、または現在取り組んでいるステップについて分かち合ってください。シェアリングでは問題そのものではなく、解決策に焦点を当ててください。御自分の自己破壊的な行為について生々しい詳細は話さないようにしてください。クロストーク、つまり、人の話を遮ったり、他の参加者の言葉に直接返答したりすることは不適切だということを、忘れないでください。また、聞くだけにしたい方は、パスしても結構です。

- 秘密を守り、名前を伏せることによって正直に話すことができるようになり、この集会が安心して話せる場となります。ですから、「ここでだれと会い、何を聞いたかは、ここを出るときに置いて行きましょう」というアルコールクス・アノニマスの言葉を思い出してください。名前を伏せるため、自己紹介は下の名前やニックネームのみにしてください。
- シェアリングは、集会が終わる5分前、〔具体的な時刻〕に終わります。その後、〔グループリーダーの一人の名前〕長老／兄弟／姉妹から最後の話を聞きます。では、信仰や希望を感じた経験を皆さんが話す時間です。話は3分から5分にまとめてください。制限時間が来たら、合図〔コンコンコンと3回たたく〕します。この集会では、参加者のリストの順に進めていきます。〔読む・分かち合う人のリストで進行役の次の順番の参加者から始めます。〕

10. グループのシェアリングを閉じる：〔シェアリングが終了する5分前、または分かち合う人がいなくて時間が空いたときに、次の質問をします。〕まだ分かち合っていない方で、グループリーダーに司会をボタンタッチする前に分かち合いたい方はいますか。〔分かち合いたい人が発言できるようにしますが、グループのシェアリングが所定の時間内に終わるようにしてください。〕参加して下さり、心から感謝いたします。では、〔グループリーダーの一人の名前〕長老／兄弟／姉妹にボタンタッチします。

11. 次の文を読む：「遅れて来た人であなたのことを知らない人がいる場合には、もう一度自己紹介をします。」わたしは「あなたの姓」長老／兄弟／姉妹です。ここで聞いたことは口外してはならないことを、忘れないでください。集会で語られた意見の中には、末日聖徒イエス・キリスト教会の信条を反映していないものもあるかもしれません。集會中にメモを取ることができるように、このガイドブックを個人用に入手することをお勧めします。また、次の集會までの間に「行動のステップ」と「よく読んで理解する」のセクションを活用し、この集會で聞いたことや経験したことを土台にして積み上げていくことも、お勧めします。わたしたちは、変わるためには人との真のつながりが不可欠であることを知っています。強さと支援を求めて人に助けを求める際、「立ち直りにおける支援」と「伴走者を選ぶ」の文書（ウェブサイトで閲覧可能であり、グループリーダーから受け取ることもできる）を指針として活用するようお勧めします。最後になりますが、参加して下さった一人一人に感謝申し上げます。あなたがここににいるということは、あなたの謙遜さと信仰の表れであり、あなたの存在は、今日出席しているすべての人に希望を与えています。わたしの話の後、どなたか閉会の祈りをしてくださいませんか？

12. グループリーダーのシェアリング（5分以内）で締めくくる：締めくくりの言葉は、変わるための原則と手段、そして救い主に対するあなたの証に焦点を当てます。集會が時間どおりに閉会できるよう、早めに終えてください。

13. だれかに閉会の祈りを願います。

14. 集會後、18歳未満の出席者に次のことを伝える：積極的に悩みの解決に取り組んでいることに感謝しています。それは、自分の人生を主の御心に合わせたいという望みがあることの表れです。わたしたちは教会から、この集會は18歳以上の人を対象とするようにという指示を受けています。役に立つような選択肢がほかにないか、親やビショップ、メンタルヘルスまたは身体の健康の専門家に相談することをお勧めします。さらに詳しい説明をご希望でしたら、〔ファミリーサービスの担当者と電話番号〕までご連絡ください。〔18歳未満の人が引き続き来る場合は、年齢規定を再度指摘しないでください。それ以上の措置を取ってはなりません。〕

配偶者と家族の支援集会の形式とダイアログ

注：下の吹き出しの文字は、あなたが言うべきことです。それ以外の文はすべて、集会で言うべきことです。

1. グループを歓迎する：末日聖徒イエス・キリスト教会の、「救い主を通して癒される一配偶者と家族の支援」集会によろしくお越しく下さいました。わたしは〔あなたの姓〕長老／兄弟／姉妹です。わたしの同僚は〔あなたの同僚の姓〕長老／兄弟／姉妹です。わたしたちは皆さんのグループリーダーです。

以下のことを行うか、または言ってください。

- ここに来るのは初めて、という方はおられますか？この集会に来てくださり、ありがとうございます。
- 参加者に、下の名前かニックネームのみで自己紹介してもらいます。
- 18歳未満の人がいれば、集会後にあなたと話すように言います（指示13参照）。

- 携帯の電源をお切りください。

- 発表事項（もしあれば）を伝えます。

2. 開会の祈りを願います：

だれか開会の祈りをしてくださる方はいらっしゃいますか。

3. ミッションステートメントを読む：「末日聖徒イエス・キリスト教会の配偶者と家族の支援集会は、愛する人がアディクションや強迫行動に陥っている方を支援します。わたしたちは、『配偶者と家族の支援ガイド』に関連する福音の原則を研究し、応用しながら、経験と信仰と希望を分かち合う兄弟姉妹のグループです。わたしたちの集会は、守秘義

務と名前を伏せるという原則に従うことを奨励しているため、安心して正直に分かち合える場となっています。わたしたちは、適切な言葉遣いと振る舞いによって御霊を招きます。福音の原則を生活に応用することによって、イエス・キリストとその贖罪を通して力を受け、希望と理解を見だし、福音の祝福をさらに完全に受けるようになっていただければ幸いです。」

4. この集会の、読んで話し合う時間を紹介する：毎週、異なる原則に焦点を当てます。部屋にいる方たちで、差し支えない方に1段落ずつ読んでもらいます。聞くだけにしたい方は、パスしても結構です。〔あなたのグループが該当する場合にのみ、次の文を言います。〕ガイドを持っていない方のために、この集会で使用するガイドを余分にご用意しています。〔そして、次の文を読みます。〕読みながら、共感するような思いや気持ちに注意して耳を傾けてください。そして、1段落読むごとに時間を取って、読んだことについて話し合います。一度に一人ずつ話すようにしたいと思いますので、手を挙げて、指名された人だけ話すようにしてください。読んで話し合う時間は〔具体的な時刻〕に終了します。これは、この集会でシェアリングの時間を確保するためです。最初に読んでくださる方はいますか？

5. 話し合いを進めるに当たり、以下の指示を心に留める：

- 各セクションを最後まで読むまで待って、各セクションの最後にある質問について話し合う。
- 参加者同士で質問し合い、答えを与え合うようにする。
- 参加者が福音の原則を応用することに心を向けられるよう助ける。
- 参加者の中から話し合いを牛耳る人が出ないようにする。
- 御霊に導かれた場合や時間が足りない場合以外は、原則のすべてのセクションをグループで読み、話し合えるようにする。
- 集会のシェアリングに十分な時間を確保するために、指定された時間に終える。

6. 進行役を紹介する：では、司会を進行役の〔進行役の下の名前〕にバトンタッチして、この集会のシェアリングに進みます。

7. 集会の次の部分を、進行役のシェアリングで始める（時間は5分までとする）：こんにちは、〔あなたの下の名前〕です。〔今週の原則に関連する良い経験（もしあれば）を分かち合い、救い主についての証を述べます。〕

8. 集会のシェアリングの紹介をする：

- 〔該当する場合のみ、次の文を読んでください。〕集会開始時から参加して下さっている皆さん、ありがとうございます。では、シェアリングを始めます。あなたの個人的な経験と、福音の原則を応用することがあなたの状況にどのように役立ったかを分かち合うようにしてください。原則を応用することが自分の情緒的な成長にどう役立ったかを中心に分かち合ってください。愛する人の選択や行動について、生々しい詳細は話さないようにしてください。クロストーク、つまり、人の話を遮ったり、他の参加者の言葉に直接返答したりすることは不適切だということを、忘れないでください。また、聞くだけにしたい方は、パスしても結構です。
- 秘密を守り、名前を伏せることによって正直に話すことができるようになり、この集会が安心して話せる場となります。名前を伏せるという原則を守るために、自己紹介は下の名前やニックネームのみにするようお勧めします。
- シェアリングは、集会が終わる5分前、〔具体的な時刻〕に終わります。では、信仰や希望についての経験を皆さんが話す時間です。話は3分から5分にまとめてください。制限時間が来たら、合図〔コンコンコンと3回たたく〕します。この集会では、わたしたちが進行します〔部屋の中の人に順番に話してもらうか、手を挙げてくれた人に話してもらうか、のどちらかにします〕。最初に分かち合いたい人はいますか。

9. グループシェアリングを閉じる：参加してくださり、心から感謝いたします。では、〔グループリーダーの一人の名前〕長老／兄弟／姉妹にバトンタッチします。

10. 次の言葉で集会を終える：〔遅れて来た人であなたのことを知らない人がいる場合には、もう一度自己紹介をします。〕わたしは〔あなたの名字〕長老／兄弟／姉妹です。ここで聞いたことは口外してはならないことを、忘れないでください。集会で語られた意見の中には、末日聖徒イエス・キリスト教会の信条を反映していないものもあるかもしれません。次の集会までの間に原則の「福音研究」と「個人の学習と応用」の項を復習し、この集会で聞いたことや経験したことを基にして学んでください。最後になりますが、参加して下さった一人一人に感謝申し上げます。

11. グループリーダーの話で締めくくる（5分以内）：締めくくりの言葉は、原則と、救い主についての証に焦点を当てます。集会が時間どおりに閉会できるよう、早めに終えてください。

12. 閉会の祈りを願います。

13. 集会後、18歳未満の出席者に次のことを伝える：積極的に悩みの解決に取り組んでいることに感謝しています。それは、自分の人生を主の御心に合わせたいという望みがあることの表れです。わたしたちは教会から、この集会は18歳以上の人を対象とするようにという指示を受けています。役に立つような選択肢がほかにないか、親やピシヨップ、メンタルヘルスまたは身体の健康の専門家に相談することをお勧めします。さらに詳しい説明をご希望でしたら、〔ファミリーサービスの担当者と電話番号〕までご連絡ください。〔18歳未満の人が引き続き来る場合は、年齢規定を再度指摘しないでください。それ以上の措置を取ってはなりません。〕

オンラインでの配偶者と家族の支援集会の形式とダイヤログ

注：下の吹き出しの文字は、あなたが言うべきことです。それ以外の文はすべて、集会で言うべきことです。

1. グループを歓迎する：末日聖徒イエス・キリスト教会の、「救い主を通して癒される一配偶者と家族の支援」集会によるこそお越しくできました。わたしは〔あなたの姓〕長老／兄弟／姉妹です。わたしの同僚は〔同僚の姓〕長老／兄弟／姉妹です。わたしたちは皆さんのグループリーダーです。

以下のことを行うか、または言ってください。

- オンライン集会の方が参加できる人が多く、ある程度名前を伏せることが簡単にできます。対面の集会では、これほどまでに名前を伏せることはできません。
- プライバシーを守れる場所、つまり、だれからも会話を聞かれることがなく、邪魔の入ることのない場所でご参加くださるよう、お願いいたします。集会を抜けなければならないときには、集会を退出してから再度参加してください。
- カメラをオンにするようお願いいたします。その方が、ほかの参加者を身近に感じるようになって、サポートしやすくなるからです。ただし、カメラをオフにして参加しても、まったく問題ありません。
- これは、内密の集会です。この集会の録画は許可されていません。参加者全員にとって安心して参加できる内密の集会になるようにするために、あらゆる努力を払ってください。ただし、ファミリーサービスは機密保持を保証することはできませんので、ご理解ください。
- この集会は初めてという方がおられましたら、心から歓迎いたします。

- 18歳未満の人がいれば、集会后にあなたと話すように言います（指示13参照）。
- 発表事項（もしあれば）を伝えます。

2. 開会の祈りを願う：

だれか開会の祈りをしてくださる方はいらっしゃいますか。

3. ミッションステートメントを読む：「末日聖徒イエス・キリスト教会の配偶者と家族の支援集会は、愛する人がボルノグラフィ関係の問題や、薬物やアルコールなどの乱用に陥っている方々を支援します。わたしたちは、『配偶者と家族の支援ガイド』に関連する福音の原則を研究し、応用しながら、経験、信仰、希望を分かち合う兄弟姉妹のグループです。わたしたちの集会は、守秘義務と名前を伏せるという原則に従うことを奨励しているため、安心して正直に分かち合える場となっています。わたしたちは、適切な言葉遣いと振る舞いによって御霊を招きます。福音の原則を生活に応用することによって、イエス・キリストとその贖罪を通して力を受け、希望と理解を見だし、福音の祝福をさらに完全に受けるようになっていただければ幸いです。」

4. この集会の、読んで話し合う時間を紹介する：毎週、異なる原則に焦点を当てます。〔次の二つの文は、集会開始後に入ってきた人がいる場合にのみ読んでください。〕読み始める前にお聞きしますが、この集会に参加している方で、読む人のリストに入れてほしい方はおられますか？聞くだけでもまったく問題ありません。〔遅れて集会に来た人がいない場合は、次の文から始めます。〕1段落か2段落ずつ読んでもらいます。読む前に名前を言い、読み終わったら「では次の方どうぞ」と言ってください。また、ただ聞くだけにしても結構です。読むのを聴きながら、このステップを実行した人たちと自分に共通する考えや気持ち、経験はないか考えてください。各セクションが終わるごとに時間を取り、読んだことについて話し合います。だれが話しているかが分かるよう、分かち合うときは忘れずに最初に名前を言ってください。読んで話し合う時間は〔具体的な時刻〕に終了します。これは、この集会でシェアリングの時間を確保

するためです。〔参加者リストの最初の方〕から読んでいただけますか。

5. 話し合いを進めるに当たり、以下の指示を心に留める：

- 各セクションを最後まで読むまで待って、各セクションの最後にある質問について話し合う。
- 参加者同士で質問し合い、答えを与え合うようにする。
- 参加者が福音の原則を応用することに心を向けられるよう助ける。
- 参加者の中から話し合いを牛耳る人が出ないようにする。
- 御霊に導かれた場合や時間が足りない場合以外は、原則のすべてのセクションをグループで読み、話し合えるようにする。
- シェアリングに十分な時間を確保するために、指定された時間に終える。

6. 進行役を紹介する：では、司会を進行役の〔進行役の下の名前〕にバトンタッチして、シェアリングに進みます。

7. 集会の次の時間を、進行役のシェアリングで始める（分かち合う時間は5分以内）：こんにちは、〔あなたの下の名前〕です。〔今週の原則に関連する良い経験（もしあれば）を分かち合い、救い主についての証を述べます。〕

8. 集会のシェアリングを紹介する：

- 〔該当する場合のみ、次の文を読んでください。〕集会開始時から参加してくださっている皆さん、ありがとうございます。では、シェアリングを始めます。あなたの個人的な経験と、福音の原則を応用することがあなたの状況にどのように役立ったかを分かち合うようにしてください。原則を応用することが自分の情緒的な成長にどう役立ったかを中心に分かち合ってください。愛する人の選択や行動について、生々しい詳細は話さないようにしてください。クロストーク、つまり、人の話を遮ったり、他の参

加者の言葉に直接返答したりすることは不適切だということを、忘れないでください。また、聞くだけにしたい方は、パスしても結構です。

- 秘密を守り、名前を伏せることによって正直に話すことができるようになり、この集会が安心して話せる場となります。名前を伏せるという原則を守るために、自己紹介は下の名前かニックネームのみにしてください。
- シェアリングは、集会が終わる5分前、〔具体的な時刻〕に終わります。では、信仰や希望についての経験を皆さんが話す時間です。話は3分から5分にまとめてください。制限時間が来たら、合図〔コンコンコンと3回たたく〕します。この集会では、読む人のリストの順番で進めていきます。〔読む・分かち合う人のリストで進行役の次の順番の参加者から始めます。〕

9. グループシェアリングを閉じる：参加してくださり、心から感謝いたします。では、〔グループリーダーの一人の名前〕長老／兄弟／姉妹にバトンタッチします。

10. 次の言葉で集会を終える：〔遅れて来た人であなたのことを知らない人がいる場合には、もう一度自己紹介をします。〕わたしは〔あなたの名字〕長老／兄弟／姉妹です。ここで聞いたことは口外してはならないことを、忘れないでください。集会で語られた意見の中には、末日聖徒イエス・キリスト教会の信条を反映していないものもあるかもしれません。次の集会までの間に原則の「福音研究」と「個人の学習と応用」のセクションを復習し、この集会で聞いたことや経験したことを基にして学んでください。最後になりますが、参加してくださった一人一人に感謝申し上げます。

11. グループリーダーのシェアリングで締めくくる（5分以内）：締めくくりの言葉は、原則と、救い主についての証に焦点を当てます。集会が時間どおりに閉会できるよう、早めに終えてください。

12. 閉会の祈りを願います。

13. 集会後、18歳未満の出席者に次のことを伝える：積極的に悩みの解決に取り組んでいることに感謝しています。それは、自分の人生を主の御心に合わせたいという望みがあることの表れです。わたしたちは教会から、この集会は18歳以上の人を対象とするようにという指示を受けています。役に立つような選択肢がほかにはないか、親やビショップ、メンタルヘルスまたは身体の健康の専門家に相談することをお勧めします。さらに詳しい説明をご希望でしたら、〔ファミリーサービスの担当者と電話番号〕までご連絡ください。〔18歳未満の人が引き続き来る場合は、年齢規定を再度指摘しないでください。それ以上の措置を取ってはなりません。〕

立ち直り集会のための訓練のポイント

以下のセクションでは、グループリーダーが立ち直り集会や伴侶と家族の支援集会を導く際に覚えておくべき重要な点について説明します。この文書の後に、オンラインでの支援集会のための訓練のポイントを記した文書が別途用意されています。

集会前の準備

- 霊的に備えます。現在取り組んでいるステップや原則の内容を読み、自分の生活に応用できるものを探してください。

対面集会

- 付録にある文書「集会の形式とダイアログ」を読んで、集会の流れをつかみます。
- 遅くとも15分前に集会所に到着して、部屋の準備をし、早めに到着した人にあいさつします。

オンライン集会

- 文書「集会の形式とダイアログ」を読んで、集会の流れをつかみます。
- オンライン集会にはZoom ([ChurchofJesusChrist.zoom.us](https://www.zoom.us)) を使います。参加者はコールインすることができます—Zoomは、フリーダイヤル番号と市内電話番号の両方を世界中に提供しています。ARPの集会には、ARPのZoomアカウントのみ使用してください。個人、ステーク、ワードのZoomアカウントを使用してはいけません。
- オンライン集会のグループリーダーは、各集会の前にパソコンからZoomにログインする必要があります。こうすることにより、集会に参加している参加者の数を確認することができますし、音を立てている人や集会の妨げとなる言動をする人をミュートにすることもできます。だれかをミュートするには、画面右側の参加者タブの下に表示されているその人の名前の横にあるミュートボタンをクリックします。画面上部の「参加者」タブから「全員をミュート」をクリックするか、Alt + Mを押すことによって、すべての参加者をミュート

にすることもできます。ミーティングのホストは、集会の妨げとなる言動をすることが判明している参加者を削除することができます。

- 集会の開始予定時刻の10分前にコールインします。参加者がミーティングに参加したら、「こんにちは、〔あなたの姓〕長老／兄弟／姉妹です」と言ってあいさつしてください。「ステップ〔または原則〕を読むのを手伝ってくださる場合、または分かち合ってくださいの場合は、あなたの下の名前かニックネームを教えてください。または、聞くだけになさっても結構です。」参加者が返答して名前を言わない場合、あいさつを繰り返さないでください。名前を伏せることについては、本人の希望を尊重してください。その人の出席を記録する際は、「聴くだけの参加」という記録になります。集会に参加してくれた次の人に対して、あいさつを繰り返します。
- 読むのを手伝ってくれる人たちのリストを作り始めます。このリストは、この集会の読む時間とシェアリングで使います。
- 読む・分かち合う人のリストを作るときは、最初をグループリーダー、次を進行役にします。（進行役がいなかった場合は、経験のある参加者に、集会のその時間で最初に分かち合ってもら必要があります。その人は、読む・分かち合う人のリストでグループリーダーの次に入れておくべきです。詳しいことは、下記の訓練ポイント「進行役を紹介する」を参照してください。）そのほかの読んでくれる参加者は、読む順番に当てます。
- 集会が始まる前に、読む・分かち合う人のリストに載っている名前を読み上げて全参加者に聞いてもらうか、またはチャットに投稿します（ホストはこれを有効にできます）。聴くだけの参加者については何も言及しないでください。

グループを歓迎する

- 参加者が来たら、心を込めてあいさつします。新しい参加者がいる場合は、自己紹介をし、下の名前を尋ね、来てくれたことに感謝します。
- 18歳未満の人がいれば、集会後にあなたと話すように言います。
- 集会を時間どおりに始めます。

- 集会中は、「集会の形式とダイアログ」または「電話またはビデオ会議の形式とダイアログ」の概要に従います。
- 新しい参加者がいる場合は、歓迎し、下の名前（やニックネーム）で自己紹介してもらいます。
- 集会の変更、新しい集会、今後のディボーションなど、発表を行います。

開会の祈りを願う

- 開会の祈りをしてくれる人はいないか聞きます。だれかに願う前に、参加者が自発的に手を挙げる時間を取ってください。

ミッションステートメントを読む

- 一字一句間違えずにミッションステートメントを読みます。

12のステップを紹介する、ステップの学習を紹介する、行動のステップを紹介する（ボルノグラフィー使用・薬物やアルコール使用の支援集会）

- 参加者が受け入れられていると感じて、気軽に読んだりパスしたりできるような雰囲気を作ります。読むことは参加者が集会に貢献する機会ですが、人前で読むことに抵抗がある人や、聞くだけにすることを望む人もいます。
- 集会を対面で行う場合、貸し出し用のテキストに「グループ用—返却してください」というラベルを付けます。
- オンライン集会の場合、12のステップを読むときには、ガイドを画面で共有することができます。
- グループに呼びかけるときは、「あなた」や「皆さん」よりも「わたし」や「わたしたち」で始まる文を用います。
- グループが「行動のステップ」セクションまで来たら、時間を取って、ダイアログと形式の文書の「行動のステップを紹介する」の次の文を読みます。その後、参加者に「行動のステップ」を読んでもらいます。

この集会の、読んで話し合う時間を紹介する（配偶者と家族の支援集会）

- 参加者が受け入れられていると感じて、気軽に読んだりパスしたりできるような雰囲気を作ります。読むことは参加者が集会に貢献する機会ですが、人前で読むことに抵抗がある人や、聞くだけにすることを望む人もいます。
- 貸し出し用テキストに「グループ用—返却してください」というラベルを付けます。
- グループに呼びかけるときは、「あなた」や「皆さん」よりも「わたし」や「わたしたち」で始まる文を用います。

進行役を紹介する

- 進行役がない場合、グループリーダーは「進行役を紹介する」と「集会の次の部分を、進行役のシェアリングで始める」のダイアログを割愛して、「グループシェアリングを紹介する」に直接進みます。そして、グループリーダーは、学んでいるステップや原則を経験している人に、シェアリングを始めるようお願いします。オンライン集会を行っている場合、その人は読む・分かち合う人のリストでグループリーダーの次になっているべきです（読む・分かち合う人のリストについての指示は、この文書の「集会前の準備、オンライン集会」参照）。

集会の次の部分を、進行役のシェアリングで始める

- 進行役は、適切なシェアリングの模範を示します。
- 進行役は、5分以内でシェアリングを終えます。
- 進行役は、今週のステップや原則に関連するポジティブな経験を分かち合います。
- シェアリングでは問題そのものではなく、解決策に焦点を当てます。
- 救い主について証します。

グループシェアリングを紹介する

- 行動を改めるよう注意する必要がある場合は、御霊に従います。

- グループリーダーも参加者も、クロストーク（1人または複数の参加者に対して批判したり、助言したり、褒めたり、発言を遮ったり、話をそらしたりすること）すべきではないことを忘れないようにします。
- 集会中に起こる問題には、必要に応じて対処します。よくある問題や、それに対して言うとい言葉には、以下のようなものがあります。
 - 問題：発言を締めくくるシグナルを無視する。言うとい言葉：「そろそろコメントを締めくくる時間です。」
 - 問題：不適切な言葉を使う。言うとい言葉：「このグループでは、適切な言葉遣いをしましょう。」
 - 問題：生々しい詳細を話す。言うとい言葉：「このグループでは、生々しい詳細を話すことは避けています。」
 - 問題：クロストーク。言うとい言葉：「このグループでは、クロストークはしません。」
- 行動を改めるよう注意するときは、できるだけ穏やかに注意します。
- 集会後に話す方が、その人の問題や質問にうまく対処できるかどうか考えます。

グループシェアリングを閉じる

- 時間があまりない場合は、グループの全員が分かち合わなくてもかまいません。
- 進行役は通常、2回目のシェアリングをしません。
- 進行役は、時間どおりにグループリーダーにバトンタッチします。
- 参加者が少ない集会では、集会を早めに終了してもかまいません。
- 集会のシェアリングが終わる15分前に、進行役は参加者に、ぜひ分かち合いたいと思う人がいるか尋ねます。時間が許せば、ぜひ分かち合いたいと答た人に分かち合う機会を与えるべきです。

グループリーダーのシェアリングで締めくくる、次の言葉で集会を終える、閉会の祈りを願います

- 5分間というシェアリングの時間制限を必ず守り、集会を時間どおりに終えて、一貫性と信頼関係、尊意を育む。
- 締めくくりの言葉では、ステップに関連した個人的な経験や、行動のステップのアイデア、「よく読んで理解する」のセクションの聖句を分かち合うことを検討する。

集会後

- まず、新しい参加者に話しかけます（この手引きの付録にある「新しい参加者を見つけて歓迎する」を参照）。
- 参加者に、「立ち直りにおける支援」をよく読んで実践するよう勧めます。彼らが望む助けとサポートはすべて主の方法で受けられることを、彼らが理解できるよう助けてください。サポートしてくれる人をよく祈って選び、立ち直りの段階を順調に進めるように、実践的なスキルを学ぶ助けをしてもらうよう勧めるとよいでしょう。アディクションに苦しみ続けている参加者がいたら、専門家の助けを求めることを検討するように勧めてください。
- 集会後、フェローシップしたり質問に答えたりする時間を取ります。
- 貸し出したガイドを回収し、必要なプログラム情報を配布します。
- 参加者の電話番号やメールアドレスを聞かないでください。
- 出席またはコールインしてくれたすべての人に感謝します。
- 地域で行われているほかの集会の情報を提供してもかまいません。
- 秘密を守るようすべての参加者に念を押します。
- 対面の集会の場合は、部屋を使用前の状態に戻します。ゴミ箱を空にし、照明と冷暖房の電源を切ります。ドアに鍵をかけ、建物の戸締りを確認します。

グループリーダー用のメモ

- 18歳未満の参加者がいたら、話をしましょう。次のように言います。「積極的に悩みの解決に取り組んでいることに感謝しています。それは、自分の人生を主の御心に合わせたいという望みがあることの表れです。わたしたちは教会から、この集会は18歳以上の人を対象とするようにという指示を受けています。役立つ方法がほかにはないかどうか、親やビショップ、心身の健康の専門家に相談することをお勧めします。分からないことがある場合や詳しい情報を知りたい場合には、地元のファミリーサービス事務局にご相談ください。」
- 虐待またはネグレクトされていると疑う理由のある子供がいる場合、または自傷行為または他人を傷つける行為をする恐れのある参加者がいる場合は、直ちに直属の監督者に知らせてください。
- 急を要する場合は、地元の警察その他の適切な緊急対応担当者に連絡してください。

